

令和6年度1号浜松道路管内橋梁塗装工事

推薦者	中部地方整備局
発注者	中部地方整備局 浜松河川国道事務所
業者名	ヤマダインプラテクス株式会社
工期	令和6年7月25日～令和7年1月31日
施工場所	静岡県袋井市久能 国道1号袋井バイパス
請負金額	114,290,000円

【取組概要】

当工事において、現場の火災検知・VOC濃度監視・気象観測値監視・湿温度監視・熱中症指標監視等の「異常検知システム」と作業員の体調変化検知・SOS発信機能等の「体調管理システム」を搭載した遠隔監視システム（監視当番）を導入。このシステムは、デジタル技術を活用して工事現場の安全管理と生産性向上を両立させることを目的とし、現場内の様々な環境データをリアルタイムで遠隔監視することで、作業員の安全確保と業務効率化を推進。



- 現場内の異常（火災・VOC濃度・気象観測値・湿温度・熱中症指標）や、作業員のバイタルデータをリアルタイムで遠隔監視（PCやスマートフォンからアクセスが可能）ができることで、作業環境の状況を常に把握し、作業の可否判断を随時、かつ迅速に行うことが可能。
- これまで手作業で行っていた現場環境や作業員の健康状態に関する記録管理が、システム内で自動的に行われるため、記録作成にかかる労力を大幅に削減（労務人数73%削減）し、書類作成業務を効率化。
- 現場内を常時測定し、異常時には自動でアラートを発する機能により、有害環境測定のための安全巡視者の人数や、作業前・作業中・作業後の点検回数を削減。異常発生時に的確な対応が可能となるため、安全管理体制の質を維持しつつ、人員配置の最適化にも貢献。